



section 02

企画・制作 下野新聞社営業局
企画監修 栃木県
栃木県警察本部

「児童虐待事件が起きると、どんなにひどい親なのかと扇情的に報道するのは間違っている。親自身だけの問題ではない、児童虐待への正しい理解が必要」…そんな言葉から始まった大竹智先生のインタビュー。子どもへの虐待をなくすために、私たちに何ができるのか、地域の役割について聞きました。

子どもには心から信頼できる大人が必要

私たちに、どんなことができるのだろうか

さまざまな虐待死事件を検証してきた大竹先生にどうしても尋ねたかったのは、「可愛い子どもを、なぜ虐待してしまうのか」という疑問でした。

「虐待をした親の背景を調べていくと、根本に孤立という問題が見えてきます。決して特別な人間なのではなく、親自身が血縁関係から孤立し、地域社会から孤立して追いつめられて虐待が起きてしまう。子どものころに虐待を受けた親による『虐待の連鎖』が問題視されていますが、虐待された親の多くは虐待をしていません。不遇な環境に

育ったからといって、自分と同じ目にあわせようと妊娠出産をする人はいないんです」

これまでの臨床研究などにおいて、虐待の連鎖が起きる背景も分かってきました。「子育ては過去との対話。子育てをしていると、自分の子ども時代が垣間見えまます。その時に、自分がこれまでを親を理解し許しているかどうかが大切です。最低一人でもいい、心の中に信頼できる大人がいたかどうか虐待の連鎖を断ち切る鍵になります」

親から虐待されていたとしても、専門家によるカウンセリングや治療により、自分を愛し、大切にしてくれた大人がいたことに気付くことができれば、自身自身の存在を認め、自ら断ち切ってきた家族や社会とのつながりを再び取り戻すことができます。「昔とは核家族の質も子育ての環境も変わっている今だからこそ、虐待をする親を罰するのではなく、社会全体が支援者としてサポートするべきです」。大切なのは、地

域の中で親子を孤立させないこと。誰かが信頼できる大人として関わり続けること。誰もがその大人の一人になれる可能性があるということですよ。

「江戸時代には仮親制度があって、妊婦に帯を贈る帯親をはじめ、取上げ親、名付け親、烏帽子親や鉄漿付親(かねつけおや)、里親など、一人の子どもにも大勢の親がいました。この制度の現代版となるのがコミュニティ・ペアレントという考え方です。地域の大人が子どもを見守り、育てていくという取組が必要です。例えば、私たちが東京都内に10年前に設立したNPO法人『学ボラサポート・プロジェクト』では、支援が必要な家庭(子ども)に大学生二人組が毎月2回訪問し、子どもの学習支援などを行いながら信頼関係を築く活動をしています。この活動は子どもに直接社会的なサービスを届けるというもの。自分のためだけに来てくれる学生との出会いには、子どもにとってその後の人生において大きな意味を持っていくことになると思います」

「江戸時代には仮親制度があって、妊婦に帯を贈る帯親をはじめ、取上げ親、名付け親、烏帽子親や鉄漿付親(かねつけおや)、里親など、一人の子どもにも大勢の親がいました。この制度の現代版となるのがコミュニティ・ペアレントという考え方です。地域の大人が子どもを見守り、育てていくという取組が必要です。例えば、私たちが東京都内に10年前に設立したNPO法人『学ボラサポート・プロジェクト』では、支援が必要な家庭(子ども)に大学生二人組が毎月2回訪問し、子どもの学習支援などを行いながら信頼関係を築く活動をしています。この活動は子どもに直接社会的なサービスを届けるというもの。自分のためだけに来てくれる学生との出会いには、子どもにとってその後の人生において大きな意味を持っていくことになると思います」



立正大学 副学長／教授
おお たけ さとる
大竹 智 先生

立正大学副学長、社会福祉学部子ども教育福祉学科教授として教鞭をとりながら、東京都児童福祉審議会児童虐待死亡例等検証部会会長として、2018年の東京都目黒区で発生した結愛ちゃん事件の検証をはじめ、これまでに多くの虐待死事例に関わる。

「江戸時代には仮親制度があって、妊婦に帯を贈る帯親をはじめ、取上げ親、名付け親、烏帽子親や鉄漿付親(かねつけおや)、里親など、一人の子どもにも大勢の親がいました。この制度の現代版となるのがコミュニティ・ペアレントという考え方です。地域の大人が子どもを見守り、育てていくという取組が必要です。例えば、私たちが東京都内に10年前に設立したNPO法人『学ボラサポート・プロジェクト』では、支援が必要な家庭(子ども)に大学生二人組が毎月2回訪問し、子どもの学習支援などを行いながら信頼関係を築く活動をしています。この活動は子どもに直接社会的なサービスを届けるというもの。自分のためだけに来てくれる学生との出会いには、子どもにとってその後の人生において大きな意味を持っていくことになると思います」

「児童虐待かも…」と思ったら、すぐにお電話ください
児童相談所 虐待対応ダイヤル **189**
無料 ※一部のIP電話からはつながりません

私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します

藤井産業株式会社 TOYOPET 栃木トヨペット

FUTABA フタバ食品株式会社 文星芸術大学附属高等学校

一般社団法人 栃木県トラック協会 NTT東日本 栃木支店

TOYOTA WOODYOU HOME

シルバーの住まいに寄り添う 比企パルカ 明光義塾 栃木県生活協同組合連合会

晋豊建設 晋街と人を、もっと笑顔に。 KSK環境整備 富島醤油株式会社

医療法人くろさきこどもクリニック、学校法人木嶋学園 みゆき幼稚園、学校法人真照寺学園 認定こども園 くにや幼稚園、学校法人鹿沼幼稚園、輪王寺附属日光幼稚園、認定こども園 西那須野幼稚園、認定こども園 黒磯幼稚園、学校法人ペスタロッツ学院 太陽幼稚園、認定こども園 栃木幼稚園、認定こども園 若葉幼稚園、認定こども園 愛泉幼稚園、八幡台認定こども園、認定こども園 ふたば幼稚園、学校法人沼田学園 恵光幼稚園、学校法人壬生学園 おもちゃのまち幼稚園、認定こども園 マロニエ幼稚園、学校法人妙音寺学園 認定こども園 育成館幼稚園、みふみ認定こども園、認定こども園 まこと幼稚園、うつのみやこども園 石川幼稚園、学校法人やまざき学園 認定こども園 釜井台幼稚園、学校法人むつみ学園 認定こども園 むつみこども園、認定こども園 アルス幼稚園、認定こども園 たから幼稚園、学校法人いのせ学園 やしお幼稚園〈順不同〉

いのちにハグを。サポーター

カンガルーOYAMA 会長 大久保幸子、立正大学 副学長／教授 大竹智、子ども虐待防止ネットワークとちぎ 代表 福田雅章、日本社会事業大学専門職大学院 非常勤講師 土屋佳子 栃木フォスタリングセンター 代表理事 島山憲夫、歌う海賊団ッ!〈順不同〉

企画監修 栃木県 TOCHIGI POLICE 栃木県警察